

(m) (17年1月1日時点)

北朝鮮が保有する弾道ミサイル

(出典:防衛白書、JANE'S STRATEGIC WEAPON SYSTEMS等)



	トクサ	スカッドB/C/ER	ドン	ムスダン	テポドン2	KN-08/KN-14	SLBM (KN-11)
射程	約120km	約300km/約500km/約1000km	約1,300km	約2,500~4,000km	約6,000km/約10,000km以上	5,500km以上 (ICBMとの指摘)	不明
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が96年にSS-21及びTELをシリアより入手し開発したとの指摘 ○ 固体燃料推進方式 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 80年代半ば以降、スカッドB/Cを生産・配備 ○ スカッドCは推進剤タンクを大型化、ERは胴体部分の延長や弾頭重量の軽量化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スカッドCのエアフレーム及びエンジンを大型化 ○ 我が国のほぼ全域がその射程内に入る可能性があり、既に配備されていると考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が90年代初期に入手したロシア製SS-N-6を改良したとの指摘 ○ 現在開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1段目にドンの技術を利用したエンジン4基を、2段目に同様のエンジン1基を利用と推定 ○ 派生型は更に3段目の推進装置を付加し射程を延長 ○ 現在、開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2012年4月及び2013年7月の閲兵式に登場 ○ 2015年10月の閲兵式にはこれまでと異なる形状の弾頭部で登場(KN-14と呼称) ○ 現在開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が90年代初期に入手したロシア製SS-N-6をベースに開発したとの指摘 ○ 固体燃料推進方式で開発中の可能性 ○ 現在開発中とみられる
運用	TEL	TEL	TEL	TEL	発射場	TEL	コレ(新浦)級潜水艦
実績等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたものと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性 ○ 14年:合計5回発射 ○ 15年3月2日にナンポ付近から発射 ○ 16年3月10日にナンポ付近から発射 ○ 16年7月19日にラテンジュ付近からスカッドまたはドン(可能性)を計3発発射 ○ 16年9月5日にラテンジュ付近からスカッドまたはドン(可能性)を計3発発射 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 93年5月の発射実験で使用された可能性が高い ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性 ○ 14年3月26日にスクチョン付近から発射 ○ 16年3月18日にスクチョン付近から発射 ○ 16年8月3日にウニェル付近から発射 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 16年4月にウォンサンから発射され、失敗と推定 ○ 16年5月にウォンサンから発射され、失敗した可能性 ○ 16年6月にウォンサンから発射 ○ 16年10月にクソン付近から発射し、失敗と推定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にテポドン2を発射し、失敗 ○ 09年4月5日のテポドン2地区からの我が国上空を飛び越える発射でテポドン2または派生型を利用 ○ 12年4月13日の東倉里(トンチャリ)地区からの発射でテポドン2または派生型を利用、発射は失敗 ○ 12年12月12日の東倉里地区からの発射でテポドン2派生型を利用、何らかの物体を地球周回軌道に投入 ○ 16年2月7日の東倉里地区からの発射でテポドン2派生型を利用、12年12月と同様の態様で飛翔させ、何らかの物体を地球周回軌道に投入 	発射実績なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 15年5月 北朝鮮、SLBM試験発射に成功と発表 ○ 16年1月 北朝鮮、SLBMの射出試験映像(15年12月の金正恩党委員長の活動に関する記録映画)を放映 ○ 16年4月、日本海上より発射 ○ 16年7月、新浦沖より発射 ○ 16年8月、新浦付近より発射

北朝鮮の弾道ミサイルの射程

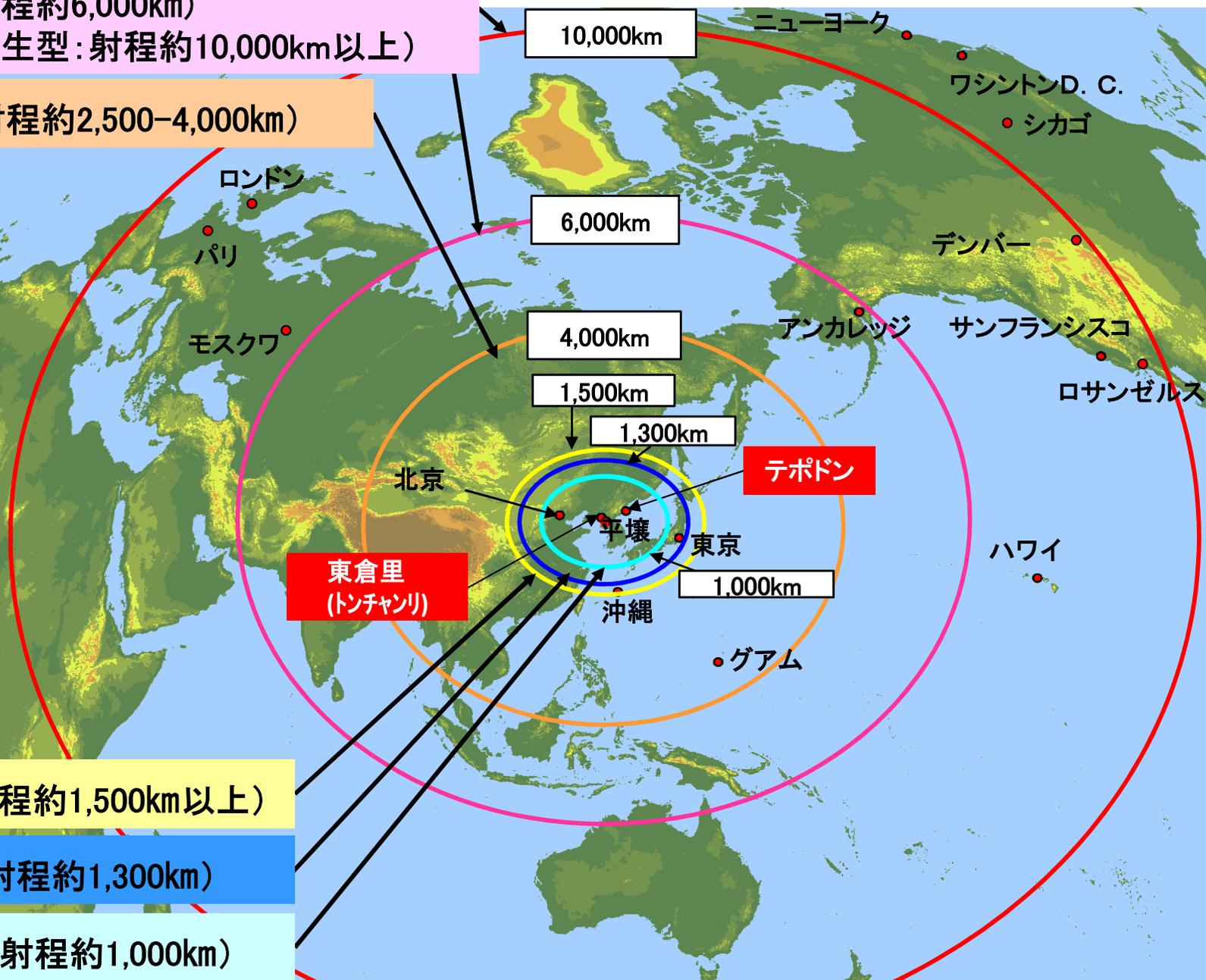
テポドン2 (射程約6,000km)
(派生型: 射程約10,000km以上)

ムスダン (射程約2,500-4,000km)

テポドン1 (射程約1,500km以上)

ノドン (射程約1,300km)

スカッドER (射程約1,000km)



※上記の図は、便宜上平壤を中心に、各ミサイルの到達可能距離を概略のイメージとして示したもの